



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に「ファーストクラスの心配り」、「あなたの人格以上は売れない!」(プレジデント社)、「成「幸」学」(講談社)、「出過ぎる杭は打ちにくい!」(サンマーク出版)、「面白くなくちゃ人生じゃない!」(ロングセラーズ)、「小説・球磨川」(上下巻・ワニブックス)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.3percent-club.com

21世紀だ! ————— 人生・農業リセット再出発 190

墨国と交流発祥の地

1609年8月、スペイン領フィリピンから出航して太平洋をメキシコへ帰国するフィリピン総督ドン・ロドリゴの帆船が台風によって大破、黒潮に乗って漂流する。2カ月後の10月に房総半島の御宿に漂着、座礁して373名が夜中の海原へ投げ出された。月明かりもない寒さと怒涛が56名の命を暗黒の波間に沈めていった。

異邦人が田尻の浜に泳ぎ着いてくる深夜の大異変に、人口300人弱の大多喜藩領・岩和田村は半鐘が鳴り響き、大騒ぎとなる。恐怖と寒さに震える遭難者に村人は絆纏を脱いで着せ、意識を失っている男に女は裸になって素肌を密着させて温めた。貧しい漁民たちは、食料を惜しみなく持ち寄って37日間にわたる看病を続け、317名が奇跡の命拾いをした。藩主・本多忠朝は彼らを大多喜城に招いて歓待し、江戸城の2代将軍・徳川秀忠と会見させる。まだ実質的に実権を握っている家康にも会わせ、スペインの江戸湾入港許可と通商が成立する。

1年近く滞り、大坂や京都も見物して『ドン・ロドリゴ日本見聞録』を書き残した。遭難の様子を記して「岩和田の貧しい村人たちは命の恩人と皆が感謝している。一方、船長の報告では、誰かが50万ペソの積荷を没収し、将軍命令で遭難35日後になって返還されたが大部分が盗まれてしまった」。難破で積荷が海底に沈んだのかもしれないし、解釈が難しいところだ。沈没の危険が迫れば積荷は海に投げ捨てても罪に問われない“荷打ち”の掟があり、破船で放棄された積荷を拾うことは海賊行為どころか、地元民にすれば貴重な海の恵みと受け取るのが慣習だった。遭難のたびに無報酬で救助に駆り出される地元民にとって、海の恵みはその暗黙の報酬とも言えた……そんな事情も重なったのかもしれない。

遭難から1年後、家康の英国人顧問ウィリアム・アダムス(三浦按針)が帆船をドン・ロドリゴに提供し、浦賀からメキシコに向けて出発、3カ月半もかかってアカプルコに帰還する。京の商人・田中勝介ら23人の日本人も乗船し、翌年にはスペイン国王の命を受けた答礼使を伴って帰国する。名目は救助のお礼と日本近海の調査だが、スペインと敵対するオランダから、彼らの目的は日本侵略だと吹き込まれた家康が態度を急変させて冷遇する。

途方に暮れた一行は、仙台の伊達政宗に声をかけられる。政宗の目的は表向きスペイン本国との通商交渉だが、世界最強の国と軍事同盟を結んで徳川倒幕を画策するものだった。支倉常長ら180人の臣下を乗船させ、メキシコ経由でスペインへ送り込む「慶長遣欧使節団」である。

フェリペ3世国王のスペインは世界最大の植民地帝国だった。常長は1613年10月28日、石巻・月の浦から出帆。メキシコを経て欧州へ渡り、1年半後ようやくスペイン国王に謁見している。常長らは初めて太平洋と大西洋の両横断に成功した日本人となった。2年後にローマ教皇パウルス5世にも謁見したが、不運にも日本はキリスト教弾圧が始まっていたので交渉は失敗して、7年後に失意の帰国をする。幕府はスペイン船の来航も全面禁止、ドン・ロドリゴ遭難の史実も語られることなく歴史から忘れ去られていく。

江戸幕府崩壊3年後の1871年12月、明治新政府の岩倉具視など重鎮が1年10カ月もの長期欧米視察旅行に出かける。横浜から米国の蒸気船で太平洋横断、米国滞り8カ月、大西洋を渡って欧州にたどり着く。岩倉一行は、日本が欧米に立ち遅れていることを思い知らされて劣等感に苛まれる。そのとき、250年も昔の常長ら外交使節団の欧州に遺されていた壮大な事跡や『日本見聞録』に出会う。一同は大いに驚き勇気づけられる。

帰国後に千葉でスペイン帆船が遭難した逸話が世間に広まる。1888年、日本が諸外国と通商条約を結んだ中で、メキシコと締結した日墨修好通商条約は初めての平等条約になった。駐日大使館の中でメキシコ大使館だけが千代田区にできた。その後メキシコへの移民は1万人を超え、子孫の日系メキシコ人が各地に住んでいる。

1928年、ドン・ロドリゴが漂着した岩和田海岸の高台に、日本・スペイン・メキシコ交通発祥の地として記念碑が完成し、徳川侯爵、スペイン国王、メキシコ大統領の筆が刻まれた。1978年、メキシコ大統領が御宿町を訪問し、「エルマーノ! 兄弟よ!」と御輿の上から日の丸の扇子を振った。家康が果たせなかった日墨交易の夢から400年が経っていた。

ところでスペイン=西、ポルトガル=葡、ブラジル=伯、メキシコ=墨西哥。「墨国」は何と発音するの? ボクコク? ボク、わかんない!